

地域医療支援病院業務報告書

静済病第150号

平成25年10月4日

静岡県知事 川勝 平太 様

所在地 静岡市駿河区小鹿一丁目1番1号

名称 静岡済生会総合病院

開設者 社会福祉法人 恩賜財団 済生会 静岡支部

静岡県済生会 会長 川勝平太



平成24年度の業務について、次のとおり医療法第12条の2第1項の規定により報告します。

1. 地域医療支援病院の名称

静岡済生会総合病院

2. 開設の場所

静岡市駿河区小鹿一丁目1番1号

3. 紹介患者への医療提供及び他院への患者紹介の実績

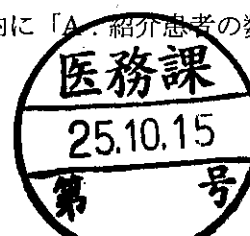
地域医療支援病院 紹介率	47.4%	算定期間	平成24年4月～ 平成25年3月
逆紹介率	64.1%		
算出根拠	A：紹介患者の数		6,442人
	B：救急患者の数		1,371人
	C：初診患者の総数		16,466人
他院又は診療所に紹介した患者の数			10,549人 (5,659人)

注1：「地域医療支援病院紹介率」欄は、A+BをCで除いた数に100を乗じて小数点以下1位まで記入すること。

それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

注2：地域医療支援病院紹介率が60%以上80%未満の病院にあつては、承認後2年間で地域医療支援病院紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を併せて提出すること。

注3：他院又は診療所に紹介した患者の数に関しては、括弧内に「A：紹介患者の数」のうち他院又は診療所に紹介した患者の数を併せて記入すること。



100  
100  
100

100  
100  
100

#### 4. 共同利用の実績

##### (1) 共同利用の実績

1) 病床の共同利用を行った医療機関の延べ数 うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数		9 施設 9 施設
2) 医療機器の共同利用を行った医療機関の延べ数 うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数		29 施設 29 施設
3) 研修施設の共同利用を行った医療機関の延べ数 うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数		30 施設 30 施設
合計	医療機関の延べ数	68 施設
	うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	68 施設
共同利用に係る病床利用率		25.44%

注：当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率等を明記すること。

##### (2) 共同利用の範囲等

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図書室とその設備</li> <li>○ 講堂とその設備</li> <li>○ 会議室（6会議室）とその設備</li> <li>○ 各検査室（MRI・CT・動脈硬化検査など）とその検査機器</li> <li>○ 手術室とその設備</li> <li>○ 研究室とその設備</li> </ul>
---

注：当該病院の建物の全部もしくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用を行ったものを明記すること。

##### (3) 登録医療機関の名簿

【別紙1参照】
---------

注：当該医療機関と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	8床
--------------	----



登録医師、医療機関名簿

氏名	診療所	住所
青山 茂夫	青山内科小児科医院	静岡市葵区北340-1
秋山 博	秋山外科	静岡市葵区長沼3丁目2-20
生野 雅史	ときわ公園クリニック	静岡市葵区常盤町3丁目6-14
石垣 泰則	城西神経内科クリニック	静岡市葵区新富町5丁目7-6
榎本 信雄	えのもと循環器科・内科	静岡市葵区安西1丁目75
大石 恒夫	大石外科胃腸科医院	静岡市葵区鷹匠2丁目6-22
大久保 眞二	マイクリニック大久保	静岡市葵区川合2丁目1-20
大峽 弘義	大はざま小児クリニック	静岡市葵区東千代田2-26-63
岡 慎一郎	岡外科胃腸科医院	静岡市葵区本通西町39
小澤 道雄	小澤内科胃腸科	静岡市葵区瀬名川1丁目29-32
小津 良子	城北耳鼻咽喉科	静岡市葵区城北29-1
影山 慎二	かげやま医院	静岡市葵区相生町9-5
勝又 肇	勝又整形・形成外科医院	静岡市葵区瀬名川1丁目27-40
勝又 洋	勝又医院	静岡市葵区大岩1丁目5-40
勝又 正孝	勝又小児科・アレルギー科医院	静岡市葵区紺屋町12-5
金子 吉彌	大川診療所	静岡市葵区坂ノ上615
川崎 康一郎	川崎耳鼻咽喉科クリニック	静岡市葵区七間町13-1 セブ'ンタウンビル2階
川野辺 重之	川野辺小児科	静岡市葵区北安東3丁目21-17
北村 明	北村医院内科・眼科	静岡市葵区一番町9
河野 陽一	みどり内科クリニック	静岡市葵区田町2丁目141-18
高良 一紀	高良整形外科医院	静岡市葵区瀬名中央4丁目5-53
小島 春紀	こじまクリニック内科・循環器科	静岡市葵区沓谷5丁目12-7
小長井 英生	ゆずの木町内科・循環器科	静岡市葵区柚木町2
小林 由美子	望月小児科医院	静岡市葵区追手町1-27
三枝 純一	三枝クリニック・肛門科	静岡市葵区栄町1-1
佐々木 玲聡	佐々木内科循環器科	静岡市葵区南瀬名町26-39
佐宗 春美	さそう内科呼吸器科クリニック	静岡市葵区大鋸町2-5
佐藤 泰	佐藤外科内科医院	静岡市葵区北安東3丁目3-28
塩 暢夫	かげやま医院	静岡市葵区相生町9-5
司馬 速	司馬医院	静岡市葵区栄町2-7
白鳥 奈津子	白鳥内科クリニック	静岡市葵区神明町103-2
白鳥 博	白鳥内科医院	静岡市葵区片羽町58
杉山 直史	杉山医院	静岡市葵区瀬名川2丁目23-21
杉山 晴敏	城北すぎやま整形外科	静岡市葵区大岩本町23-7
杉山 博通	内科杉山医院	静岡市葵区水道町10-5
菅野 寛也	菅野医院分院	静岡市葵区瀬名1丁目7-3
鈴木 英生	鈴木内科医院	静岡市葵区安倍口新田526-3
富松 健一	富松レディースクリニック	静岡市葵区東千代田1丁目1-3
伴野 隆久	トモノ医院	静岡市葵区東鷹匠町24
伴野 恒雄	ともの整形外科クリニック	静岡市葵区上土1丁目1-71
長井 昭彦	長井歯科口腔外科	静岡市葵区瀬名中央4丁目5-65
南波 孝守	南波耳鼻咽喉科医院	静岡市葵区瀬名中央3丁目28-17
袴田 光治	袴田外科医院	静岡市葵区籠上13-20
服部 文雄	服部クリニック	静岡市葵区羽鳥5丁目7-30

登録医師、医療機関名簿

氏名	診療所	住所
平野 靖雄	平野医院	静岡市葵区昭和町5-5
舟橋 守	舟橋医院	静岡市葵区一番町26
本田 博	本田眼科医院	静岡市葵区紺屋町8-6
松木 忠	新通り整形外科	静岡市葵区新通1-12-5
三神 美和	美和クリニック	静岡市葵区足久保口組127-7
溝口 修身	溝口クリニック	静岡市葵区古庄2丁目15-26
三田 智子	川野辺小児科	静岡市葵区北安東3丁目21-17
三竹 啓敏	みたけ内科循環器科クリニック	静岡市葵区東鷹匠町4-10
宮下 裕三	宮下医院	静岡市葵区羽鳥1丁目7-13
望月 剛	望月内科消化器内科クリニック	静岡市葵区新伝馬1丁目11-23
望月 久司	もちづき整形外科	静岡市葵区沓谷4丁目1-39
森田 清文	森田クリニック	静岡市葵区上足洗4丁目1-7
森本 健一	森本内科循環器科	静岡市葵区新通1丁目11-5
森谷 晋	森谷医院	静岡市葵区羽鳥1丁目3-7
山田 寛	井川診療所	静岡市葵区井川1133-2
山本 洋史	山本内科医院	静岡市葵区川合3丁目13-11
吉川 正宏	吉川医院	静岡市葵区竜南1丁目14-31
芳村 直	芳村整形外科医院	静岡市葵区長沼984
飯室 優	飯室クリニック	静岡市駿河区馬淵4丁目16-12
飯山 和郎	飯山内科クリニック	静岡市駿河区小黒2丁目9-13
石井 洋治	石井内科医院	静岡市駿河区馬淵2丁目10-20
石井 令三	杉山医院	静岡市駿河区泉町4-5
板井 茂行	板井クリニック	静岡市駿河区曲金7丁目7-19
岩橋 宏	岩はし内科医院	静岡市駿河区丸子2丁目2-8-5
上田 憲	うえだ小児科	静岡市駿河区登呂6丁目13-36
臼倉 洋子	おさだ耳鼻科	静岡市駿河区丸子新田536
宇野 明彦	皮膚科・アレルギー科 宇野医院	静岡市駿河区馬淵1丁目11-15
遠藤 博之	たんぽぽ診療所	静岡市駿河区中吉田26-16
大島 聡彦	大島医院	静岡市駿河区用宗1丁目33-3
大町 滋	大町耳鼻咽喉科医院	静岡市駿河区八幡5丁目7-34
大町 龍頭	大町耳鼻咽喉科医院	静岡市駿河区八幡5丁目7-34
岡本 美枝	おかもとレディースクリニック	静岡市駿河区曲金4丁目7-3
岡本 恭和	岡本外科クリニック	静岡市駿河区曲金4丁目7-3
奥村 透	おくむらメンタルクリニック	静岡市駿河区森下町1-30 3Fコビル2階
落合 滋	用宗落合診療所	静岡市駿河区用宗4丁目2-2
嘉本 拓生	かもと整形外科医院	静岡市駿河区登呂4丁目2-21
河原 秀俊	かわはら医院 小児科・アレルギー科	静岡市駿河区登呂2丁目9-32
菊池 美子	きくち内科医院	静岡市駿河区新川2丁目8-3
菊池 隆介	きくち内科医院	静岡市駿河区新川2丁目8-3
小長井 淳弘	小長井整形外科医院	静岡市駿河区新川2丁目5-31
小長井 淳吉	小長井整形外科医院	静岡市駿河区新川2丁目5-31
近藤 泰	近藤医院	静岡市駿河区手越310
齋藤 勝	聖一色齋藤医院	静岡市駿河区聖一色414-8
桜井 浩二	桜井クリニック	静岡市駿河区中田本町6-11

## 登録医師、医療機関名簿

氏名	診療所	住所
佐々木 貴子	日漢堂医院	静岡市駿河区中原707-1
佐藤 栄作	おおや整形外科クリニック	静岡市駿河区片山8-15
佐藤 太志	佐藤内科医院	静岡市駿河区南町12-19
佐野 正	キッズクリニックさの	静岡市駿河区敷地1丁目18-19
塩川 和彦	塩川八幡ヒルズクリニック	静岡市駿河区八幡5丁目32-10
柴山 恵美子	柴山クリニック	静岡市駿河区登呂5丁目11-9
柴山 修介	柴山クリニック	静岡市駿河区登呂5丁目11-9
白鳥 隆	白鳥消化器内科医院	静岡市駿河区豊田1丁目7-22
杉浦 浩策	杉浦内科	静岡市駿河区みずほ4丁目10-10
杉山 圭一	登呂杉山医院	静岡市駿河区登呂5丁目4-1
杉山 正暉	登呂杉山医院	静岡市駿河区登呂5丁目4-1
鈴木 泉	いずみ眼科	静岡市駿河区小鹿2-1-11
鈴木 喜之	やはた内科・循環器内科	静岡市駿河区八幡4-7-21
高野 哲	高野外科胃腸科医院	静岡市駿河区中田1丁目7-11
高野 洋	高野外科胃腸科医院	静岡市駿河区中田1丁目7-11
高野橋 正好	高野橋医院 脳神経外科 心臓血管外科	静岡市駿河区北丸子2丁目5-10
田宮 健	静岡広野病院	静岡市駿河区広野1494-8
田村 茂樹	田村外科医院	静岡市駿河区八幡3丁目21-26
ちょう 賛發	ちょう内科医院	静岡市駿河区小鹿430-3
戸田 顯彦	戸田クリニック	静岡市駿河区中田2丁目3-17
長島 泰行	長島耳鼻咽喉科医院	静岡市駿河区池田275-1
中村 俊文	ちょう内科医院	静岡市駿河区小鹿430-3
野口 健治	野口耳鼻咽喉科医院	静岡市駿河区曲金4-3-7
野々田 力	小児科ののだ医院	静岡市駿河区下川原5丁目19-15
萩原 秀男	萩原医院	静岡市駿河区西脇29-1
間 浩明	大谷はざまクリニック	静岡市駿河区宮川39-20
早川 聡	こぐまこどもクリニック	静岡市駿河区国吉田5丁目13-1
原田 昌男	原田医院	静岡市駿河区中村町73-12
深澤 洋幸	ふかさわレディースクリニック	静岡市駿河区敷地1丁目18-10
福田 浩次	内科・消化器科福田医院	静岡市駿河区西脇746-1
福間 秀昭	福間産婦人科クリニック	静岡市駿河区中原739-1
堀田 宗爾	堀田内科医院	静岡市駿河区宮竹1丁目4-7
堀川 和裕	静岡共立クリニック	静岡市駿河区曲金4-1-25
堀向 文憲	堀向医院	静岡市駿河区曲金5丁目4-63
真砂 玲治	静岡曲金クリニック	静岡市駿河区曲金3丁目5-5
増田 裕行	増田こどもクリニック	静岡市駿河区豊田1丁目8-30
松生 宏文	松生整形外科医院	静岡市駿河区西島528
松本 延男	まつもとこどもクリニック	静岡市駿河区上川原713-1
三神 美久	三神医院	静岡市駿河区西大谷4-4
宮田 潤一	宮田医院	静岡市駿河区国吉田4丁目24-17
望月 邦憲	望整形外科	静岡市駿河区豊田1丁目1-20
矢島 洋	矢島耳鼻咽喉科気管食道科医院	静岡市駿河区泉町2-3 7ｽﾞﾙﾙ 12階
山崎 嘉弘	山崎医院	静岡市駿河区新川1丁目19-5
山田 孝史	山田医院	静岡市駿河区聖一色473-1

登録医師、医療機関名簿

氏名	診療所	住所
渡辺 憲治	わたなべクリニック	静岡市駿河区南町6-16 ハレ・ルネッサンス104
渡辺 恵	渡辺内科医院	静岡市駿河区池田649-1
青木 孝夫	青木内科医院	静岡市清水区興津清見寺町143-17
浅井 寿彦	浅井内科医院	静岡市清水区中矢部町3-15
小原 英昭	小原医院	静岡市清水区有度本町2-15
片山 洋一	片山耳鼻咽喉科医院	静岡市清水区宮加三551-5
佐野 次穂	佐野内科医院	静岡市清水区八木間町1871
柴田 征也	柴田内科医院	静岡市清水区西久保318
土屋 和弘	草薙土屋外科医院	静岡市清水区草薙1丁目25-35
中川 欽也	中川内科小児科医院	静岡市清水区石川新町8-31
中村 好邦	中村眼科医院	静岡市清水区天神1-11-24
原 光宏	原小児科医院	静岡市清水区神田町5-5
東 英明	東クリニック	静岡市清水区辻1丁目3-18
広川 秀明	広川医院	静岡市清水区高橋3-4-40
福地 照元	福地外科循環器科医院	静岡市清水区七ツ新屋2-4-15
古沢 洋勝	古沢外科医院	静岡市清水区七ツ新屋427-11
馬越 智浩	耳鼻咽喉科 まこし医院	静岡市清水区巴町14-12
松浦 知史	松浦整形外科	静岡市清水区平川地7-30
松浦 由美子	春日耳鼻咽喉科クリニック	静岡市清水区春日1-6-18
室井 正彦	磯貝医院	静岡市清水区草薙1丁目15-23
望月 篤	望月クリニック	静岡市清水区大沢町2-14
渡邊 浩一	渡辺内科医院	静岡市清水区上清水町11-18
渡辺 善明	渡辺外科医院	静岡市清水区草薙一里山3-33



5. 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送用自動車により 搬入した救急患者の数	4,303 (1,911人)
上記以外の救急患者の数	15,218人 (1,954人)
合 計	19,521人 (3,865人)

注：それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

《救急医療を提供する能力を有することを証する書類》

【別紙2参照】
---------

6. 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(1) 研修の内容

開催年月日	研修会名称	会場	院内参加者	院外参加者
平成24年7月5日	地域ケア従事者研修会	講堂	5人	50人
平成24年5月15日	新生児蘇生法「専門」 コース講習会	講堂	2人	5人
平成24年6月20日			0人	4人
平成24年7月17日			3人	3人
平成24年8月21日			2人	3人
平成24年9月18日			2人	2人
平成24年10月16日			3人	3人
平成24年11月20日			4人	0人
平成24年12月18日			3人	4人
平成25年2月19日			4人	0人
平成25年3月19日			1人	1人
平成25年3月2日			緩和ケア研修会	講堂
平成25年3月3日	18人	0人		

(2) 研修の実績

研修者数	140人
------	------

注：前年度の研修生の実数を記入すること。



NO.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師	寺崎 正起	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	外科
2	医師	岡本 好史	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	外科
3	医師	鈴木 潔	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	外科
4	医師	神谷 忠宏	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	外科
5	医師	加藤 健宏	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	外科
6	医師	田中 顕一郎	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	外科
7	医師	石山 純三	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	脳神経外科
8	医師	岩崎 正重	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	脳神経外科
9	医師	畠山 尚登	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	脳神経外科
10	医師	青島 千洋	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	脳神経外科
11	医師	中村 肇	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	胸部・心臓血管外科
12	医師	城田 和明	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	胸部・心臓血管外科
13	医師	高野橋 暁	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	胸部・心臓血管外科
14	医師	高野橋 誓子	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	腎臓内科
15	医師	戸川 証	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	腎臓内科
16	医師	島崎 めぐみ	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	腎臓内科
17	医師	宇山 聡子	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	腎臓内科
18	医師	稲葉 直之	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	内分泌代謝科
19	医師	須賀 昭彦	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	緩和医療科
20	医師	浅野 寿利	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	緩和医療科
21	医師	竹内 元二	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	総合診療科
22	医師	山口 晴雄	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	消化器内科
23	医師	日比 知志	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	消化器内科
24	医師	河合 学	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	消化器内科
25	医師	吉井 仁	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	神経内科
26	医師	鈴木 康弘	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	神経内科
27	医師	兒島 辰哉	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	神経内科
28	医師	竹内 隆浩	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	血液内科
29	医師	山崎 寛章	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	血液内科
30	医師	小倉 跡夢	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	整形外科
31	医師	渡邊 完	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	整形外科
32	医師	藤原 那沙	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	整形外科
33	医師	金 栄智	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	整形外科
34	医師	津久井 亨	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	整形外科
35	医師	伊藤 英人	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	整形外科
36	医師	大澤 郁介	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	整形外科
37	医師	藤原 祐樹	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	整形外科
38	医師	樋口 善俊	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	整形外科
39	医師	武林 悟	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	耳鼻咽喉科
40	医師	影山 桃子	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	耳鼻咽喉科
41	医師	安原 智洋	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	耳鼻咽喉科
42	医師	岡崎 嘉樹	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	眼科
43	医師	浅井 景子	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	眼科
44	医師	御子柴 雄司	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	眼科
45	医師	杉浦 崇浩	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	小児科
46	医師	上田 晶代	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	小児科
47	医師	森下 雄大	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	小児科
48	医師	水野 恵介	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	小児科
49	医師	水谷 真一郎	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	小児科
50	医師	小松 賢司	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	小児科
51	医師	佐藤 早苗	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	小児科
52	医師	石塚 隆夫	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	産婦人科
53	医師	田村 圭浩	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	産婦人科
54	医師	佐野 敬則	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	産婦人科
55	医師	小野田 亮	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	産婦人科
56	医師	永田 直紀	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	産婦人科
57	医師	松本 賢太郎	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	皮膚科
58	医師	伊 琇暎	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	形成外科



NO.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
59	医師	若林 桂介	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	形成外科
60	医師	安倍 弘和	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	泌尿器科
61	医師	木村 亮輔	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	泌尿器科
62	医師	土井 亘	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	泌尿器科
63	医師	竹中 俊介	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	泌尿器科
64	医師	山本 典正	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	麻酔科
65	医師	榛葉 俊一	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	精神科
66	医師	望月 亮三	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	放射線科
67	医師	山田 実	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	循環器不整脈科
68	医師	長谷部 秀幸	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	循環器不整脈科
69	医師	山田 大介	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	循環器不整脈科
70	医師	松山 伸広	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	循環器不整脈科
71	医師	大杉 昌史	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	循環器不整脈科
72	医師	田島 将吾	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	病理診断科
73	医師	岩田 紘樹	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医1年目
74	医師	菅沼 雅人	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医1年目
75	医師	杉山 義晴	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医1年目
76	医師	鈴木 瑛	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医1年目
77	医師	土川 麻里子	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医1年目
78	医師	畑田 英彦	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医1年目
79	医師	吉原 努	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医1年目
80	医師	良知 弘務	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医1年目
81	医師	家久 一光	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医2年目
82	医師	上原 宏子	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医2年目
83	医師	倉田 知幸	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医2年目
84	医師	小出 由梨香	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医2年目
85	医師	永井 和樹	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医2年目
86	医師	范 博	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医2年目
87	医師	日紫喜 公輔	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医2年目
88	医師	山崎 賢士	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医2年目
89	医師	米澤 出	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	研修医2年目
90	歯科医師	横山 恭子	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	歯科・歯科口腔外科
91	歯科医師	大村 佳子	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	歯科・歯科口腔外科
92	歯科医師	藤塚 秀樹	常勤一専従	月～金 8:30-17:15(45) 勤務表による勤務	歯科・歯科口腔外科



(3) 研修の体制

1. 研修プログラムの有無 (有) ・ 無

2. 研修委員会設置の有無 (有) ・ 無

3. 研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
石塚 隆夫	医師	産婦人科	院長	40	研修実施責任者
寺崎 正起	医師	外科	副院長	33	プログラム委員長
吉井 仁	医師	神経内科	副院長	29	
石山 純三	医師	脳神経外科	副院長	33	
戸川 証	医師	腎臓内科	副臨床研修センター長	19	プログラム委員
岡本 好史	医師	外科	部長	25	
竹内 隆浩	医師	血液内科	科長	18	プログラム委員
杉浦 崇浩	医師	新生児科	科長	16	プログラム委員
田島 将吾	医師	病理診断科	科長	8	プログラム委員
伊藤 英人	医師	整形外科	科長	16	プログラム委員
成島 正昭	医師	産婦人科	部長	42	
竹内 元二	医師	総合診療科	部長	34	
榛葉 俊一	医師	精神科	部長	32	
中村 肇	医師	胸部・心臓血管外科	部長	29	
鈴木 康弘	医師	神経内科	部長	27	
藤塚 秀樹	医師	歯科・口腔外科	部長	27	
武林 悟	医師	耳鼻咽喉科	部長	26	
望月 亮三	医師	放射線科	部長	26	
稲葉 直之	医師	内分泌代謝科	部長	23	
山本 典正	医師	麻酔科	部長	22	プログラム委員
山田 実	医師	循環器不整脈科	部長	22	
山口 晴雄	医師	消化器内科	科長	21	





研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
須賀 昭彦	医師	緩和医療科	科長	21	
田村 圭浩	医師	産婦人科	医長	13	プログラム委員
松本 賢太郎	医師	皮膚科	科長	17	
水野 恵介	医師	小児科	科長	17	
安倍 弘和	医師	泌尿器科	科長	15	
岡崎 嘉樹	医師	眼科	科長	15	
松岡 伯	医師	形成外科	科長	15	
青島 千洋	医師	脳神経外科	医長	15	プログラム委員
高野橋 誓子	医師	腎臓内科	医員	5	
佐野 敬則	医師	産婦人科	医員	5	プログラム委員
佐野 ちづる	看護師	看護部長室	部長	36	プログラム委員
大畑 久美子	看護師	看護部長室	副部長	34	
吉澤 加代子	看護師	NICU	副部長	29	プログラム委員
西山 雅善	薬剤師	薬剤科	主査	21	
石田 眞貴廣	診療放射線技師	放射線技術科	主査	25	
高山 恒一郎	理学療法士	リハビリテーション科	主査	19	
淀川 千尋	臨床検査技師	臨床検査科	副主任	15	

(4) 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講堂	221.40㎡	(主な設備) プロジェクター・マイク・ビデオ 簡易蘇生訓練用人形・机・椅子
研究室	50.04㎡	(主な設備) プロジェクター・スクリーン 机付き椅子
第2会議室	52.64㎡	(主な設備) プロジェクター・スクリーン 机・椅子
第3会議室	44.91㎡	(主な設備) 同上
第5会議室	30.64㎡	(主な設備) 机・椅子・ホワイトボード
第6会議室	24.99㎡	(主な設備) 同上



7. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

	役 職	氏 名
管理責任者	病院長	石塚 隆夫
管理担当者	事務部長兼総務財務課課長	杉原 孝幸
	地域医療センター地域連携室長	中村 敬

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病棟日誌・各科診療日誌・処方箋・手術記録・看護記録・検査所見記録・エックス線写真・紹介状・退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医療情報室 カルテ室	平成18年3月より 電子カルテ
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同記録の実績	地域連携室	
	救急医療の提供の実績	医事課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域連携室	
	閲覧実績	地域連携室	
	紹介患者に対する医療提供及び他院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域連携室	

注：「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。



8. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

	役 職	氏 名
閲覧責任者	病院長	石塚 隆夫
閲覧担当者	事務部長兼総務財務課課長 地域医療センター地域連携室長	杉原 孝幸 中村 敬
閲覧の求めに応じる場所	地域医療センター地域連携室	

<p>《前年度の閲覧方法》</p> <p>手続きの概要</p> <p>申込者による申請（電話・来所・文書など）申込用紙に記入（閲覧担当者：病診連携室が対応）事情等により臨機応変に対応する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>閲覧責任者による決裁（事案により、地域医療委員会で審議・検討を行う場合あり）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>閲覧者へ可否の連絡（閲覧担当者より）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>地域連携室にて閲覧の実施</p>		
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

注：閲覧件数については、前年度の総延べ数を記入すること。



9. 医療法施行規則第9条の19第1項の委員会の開催の実績

委員会の開催の実績	委員会の開催回数	1回
	開催日時	平成24年12月14日 19時30分より
	委員の現員数	10名
	出席者数	9名
委員会における議論の概要		
<p>○実績報告・・・・・・・・紹介、逆紹介数（率） 医療機器共同利用 研修会開催実績 その他の運営状況</p> <p>○新規事業について・・・・連携窓口の強化・連携室土曜日の対応について</p> <p>○意見交換・・・・・・・・予約枠の設定、市内ネットワークへの参加</p> <p>○その他・・・・・・・・新館の建設等</p> <p>○学識経験者による委員会の設置について</p> <p>委員会名 : 静岡済生会総合病院地域医療支援病院運営委員会</p> <p>外部委員 : 静岡市静岡医師会 (柴山修介先生) 静岡市清水医師会 (松永元良先生) 静岡市歯科医師会 (木下歩先生) 静岡市薬剤師会 (山本勝央先生) 静岡市保健所 (加治正行先生) 静岡県立大学短期大学部 (越智美智子教授)</p> <p>病院内委員 : 病院長 石塚隆夫 副院長 吉井 仁 (地域医療担当) 看護部長 佐野ちづる 事務部長 杉原孝幸 (事務局) 地域連携室</p>		

注：委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。





10. 患者相談の実績

患者相談を行う場所	医療相談室（南館A棟1階）
主として患者相談を行ったもの（複数回答可）	看護師・医療ソーシャルワーカー
患者相談件数	10,083件
患者相談の件数（実数）	
相談内容分類	件数
①健康相談（一般的な相談）	276件
②医療行為・医療事故・情報公開	6件
③診療報酬等の費用負担	337件
④職員の対応・接遇	10件
⑤病院の設備、人員、運営体制等	0件
⑥その他	1,213件
※上記実数については、重複（1つのケースに複数の問題あり）	
紹介経路（実数）	
本人	85件
家族	159件
医師（担当医・主治医等）	416件
看護師	846件
その他の医療スタッフ	109件
関係機関	90件
他の医療機関	42件
ケアマネージャー	25件
その他	5件

注：患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。



# (資料)紹介率・逆紹介率の算定根拠

平成24年度	紹介率	a			b			①a-b			②			③			④		
		逆紹介率	初診患者	時間外初診患者	初診患者の数	時間外初診患者	初診患者の数	紹介患者の数	紹介患者の数	救急患者の数	救急患者の数	逆紹介患者の数	逆紹介患者の数						
4月	48.0%	66.7%	1,858	605	1,253	491	110	836											
5月	43.9%	60.8%	2,007	619	1,388	488	121	844											
6月	46.6%	63.3%	1,952	520	1,432	584	84	906											
7月	47.1%	56.0%	2,142	650	1,492	584	118	835											
8月	42.4%	59.3%	2,222	631	1,591	572	103	943											
9月	50.1%	63.5%	1,975	691	1,284	513	130	815											
10月	47.2%	65.2%	2,030	560	1,470	573	121	959											
11月	49.9%	65.5%	1,868	548	1,320	544	115	865											
12月	52.4%	71.5%	2,011	781	1,230	494	150	879											
1月	48.5%	60.1%	2,134	774	1,360	538	121	817											
2月	47.5%	66.8%	1,799	513	1,286	512	99	859											
3月	47.6%	72.9%	1,946	586	1,360	549	99	991											
合計	47.4%	64.1%	23,944	7,478	16,466	6,442	1,371	10,549											

紹介率 (②紹介患者の数+③救急患者の数)÷①初診患者の数

逆紹介率 ④逆紹介患者の数÷①初診患者の数

④逆紹介患者の数は、診療情報提供料を算定した者の数 + 地域連携診療計画により転院した患者数  
 紹介状を持った初診患者が、時間外に受診し、入院しなかった場合……上記、a、②に算入(bには入れていません)  
 紹介状を持った初診患者が、時間外に受診し、入院した場合……上記、a、②に算入(b、③には入れていません)



# 紹介・逆紹介（率）の数値の算出について

紹介率の算定（図）

(時間帯)	平日時間帯		休日夜間帯	
	分子	紹介状なし 緊急入院なし ③救急患者	②紹介状あり (紹介患者)	②紹介状あり 入院あり
分母	① 初診患者の数 A 初診患者 B 時間外初診患者			

紹介率

$$\frac{\text{② 紹介患者の数}}{\text{① 初診患者の数}}$$

- A. 初診患者  
医療機関にその疾患で初めて診察を受けた患者の数（初診料を算定した患者）
- B. 時間外初診患者  
休日夜間救急を実施している病院では、そうでない病院（完全紹介制など）に比べ初診患者の数に著しい不利が生じるため、その時間帯の患者については、紹介率の計算をする際に、上記A. の数より引くことになりました。（平成16年通達より）
- ① 初診患者の数  
紹介率を計算するための分母は、上記A. からB. を引いた数となります。
- ② 紹介患者の数  
紹介患者の数＝紹介状持参患者数となり、「紹介状持参の初診料を算定した患者の数」としています。
- ③ 救急患者の数  
緊急的に入院し、治療を必要とした救急患者の数。（紹介状を持参した救急患者は、③と重複するためこの数からは除きます。）

④ 逆紹介患者の数  
他の病院や診療時に紹介した者で、診療情報提供料を算定した者の数 + 地域連携診療計画書により転院した患者数  
一人の患者について複数の医療機関へ紹介する場合、又は複数の診療科より紹介する場合は、1人とする。（実人数）



# 平成 24 年度第 1 回 静岡済生会総合病院

## 地域医療支援病院運営委員会

日時：平成 24 年 12 月 14 日 19 時 30 分より  
場所：静岡済生会総合病院 北館 第 3 会議室

### 次 第

1. 開会（開会挨拶 病院長 石塚隆夫）
2. 委員紹介（清水医師会：松永委員 静岡市薬剤師会：山本委員）
3. 議 事： 進行係（事務局）
  - （1）実績報告（事務局より）  
紹介・逆紹介数（率） 医療機器共同利用  
運営状況など
  - （2）意見交換
  - （3）その他
4. 閉会

#### 【配付資料】

座席表

委員名簿

資料 静岡済生会総合病院 現況報告、取り組み状況等  
院外向け広報誌、他





平成 24 年度 静岡済生会総合病院 地域医療支援病院運営委員会

日時 : 平成 24 年 12 月 14 日 (水) 19 : 30~20:55

場所 : 第 3 会議室

出席者

院外 柴山 修介 (静岡医師会理事)  
松永 元良 (清水医師会会長)  
木下 歩 (静岡市歯科医師会)  
加治 正行 (静岡市保健所長)  
山本 勝央 (静岡市薬剤師会)  
越智 美智子 (静岡県立大学短期大学部)

院内 石塚 隆夫 (病院長)  
吉井 仁 (副院長)  
佐野 ちづる (看護部長)  
中村 敬 (地域連携室室長)  
前川 あゆ美 (地域連携担当)  
村松 隆代 (地域連携担当)

欠席 : 杉原 孝幸 (事務部長)

1. 開会挨拶 (石塚院長)

2. 委員紹介・自己紹介

3. 実績報告

中村室長 入院患者数は整形外科が多い。新入院患者数は上がっている。  
紹介率は平均して 40%。逆紹介率は H22 年から 60%を超えている。今年の 7 月に 60%を下回っているのは、紹介状を持参しない患者さんが多かったせいかな。  
紹介元に戻している数は変わらない。  
眼科は、市立島田市民病院・県立総合病院などに医師がいない (少ない) ため、当院に患者さんが殺到している。  
平均在院日数は、国の方針により短くなっている (回転が早くなっている)。  
市内 5 病院を比較すると、県立総合病院・市立静岡病院の入院が減ってきている。  
職員の時間外勤務時間数は、目標値より 3 ヶ月連続下回っている。  
手術件数・全身麻酔件数を示し、各診療科に手術件数の増加を促している。

一日平均の救急車数はH22年度平均よりは増えているが、H23年度平均よりは減っている。

救命からの入院数は、30%前後で推移している。

10月単月では、約5千万円の黒字。

受診実患者数は、駿河区79,000人、葵区25,000人、清水区20,000人。市外の患者さんが増えている。

救急搬送患者数は、旧清水市が1.6%増えている。

H24年4～8月まで救急搬送患者は1,759人。入院は767人。入院に至った患者さんのうち、介護・福祉施設からは137人（特養60人）。休日夜間救急の現場でたびたびトラブル（施設で看れないから入院を・施設で看れないから後を探してくれ）がある。

医師数は10月1日現在、常勤医80名、研修医17名、非常勤34名。来年度の研修医は10人マッチング。

看護・技術職のうち、当院はリハビリの職員が他病院に比べて多い。特に言語聴覚士が4名いる。嚥下訓練・嚥下機能評価または、施設へ入所する際の食事の評価などを行っている。

紹介数・逆紹介数の統計数、様々な計算方法があるが（診療報酬上カウントしているもの・地域医療支援病院・実際の数・医師会への報告）、紹介数は現在、年間約12,000件（月1,000件）。逆紹介は、2008年頃から、いただいた分と同じくらい返している。（2003～2007までは返せていなかった）

インターネットのうち脳卒中は、多数の（1,354人登録）患者さんが年1回定期受診している。パスのICT化が予定されている。

共同利用として、病床は7施設が利用（8床あるうち、使用しているのは2.5床）。子供のアレルギーなどは、当院の若手医師と共に診ている。医療機器は24施設が利用している。今後、ICTを利用した場合、来院しなくても画像が閲覧できるため利用数としてカウントできないのでは。

前年度の課題として、紹介→受診までのスピードアップ・予約の枠がないということがあった。7月から紹介予約枠の設定（1医師1日2枠）、連携室の業務時間の延長（19時まで）を実施。

ICTを活用した患者情報の共有システムとして、イーザーネット・ふじのくにねっと・静岡県版在宅医療連携ネットワークに参加。ふじのくにねっとでは、救命での夜間対応・包括同意・登録患者さんの管理方法など課題がある。

今後の活動として、患者満足度を向上させるため玄関ドアに案内図と各診療所のカード設置。医療機関向けの広報誌の発行。診療受付時間の延長・紹介枠の拡大・土曜日対応などの検討。ふじのくにねっとは患者同意の元、原則開示の運用で検討。

加治先生 逆紹介が多くないというのは。

中村室長 紹介状を持参しない患者さんが多く(かぜや軽症)当院で完結してしまった。

越智先生 予約枠は優先して入れてよいという事ですか。

中村室長 症状による。救命へ来ていただくことも。

越智先生 検査・ドックなどで連携は。

中村室長 ドックに紹介することもあるが、圧倒的に病気の方が多。

越智先生 5病院の入院数、分母が違う中でどうか。

中村室長 減っている。のべでならずと減っている。入院患者は増えている。

越智先生 手術件数は外来ですか。

中村室長 外来は入っていない。他院では日帰り手術を行っているところもあるが当院では難しい。

越智先生 土曜日対応はメリットがあると思うが、人件費・電気代などのデメリットを考えるとマイナス覚悟で実施するのか。

中村室長 救命センターは24時間365日開いているため、電気代は変わらない。

松永先生 特養は金曜日に、病院に行くために紹介状を書いてと言ってくる。困る。延命のためだけに医療機関に紹介というのはどうか。嘱託医がいるのだから相談すればよい。清水は、静岡に比べて在宅や往診を行う診療所が少ないので増やしていきたい。

越智先生 三菱電機には済生会の医師は行っていますか。

中村室長 行っていない。紹介はいただいている。

松永先生 受付時間の延長は何時までよいか。在宅で診るとき、経管栄養・カニューレなどの医療材料が新しいものだ慣れておらず、教えていただければ。勉強会を開いていただけたら、19時くらいからがよい。

山本先生 H24.4月から退院時共同指導料が算定可能となった。県総とは連携し調整中。在宅が対応できないところもある。可能な登録薬局は40軒ほど。居宅医療ネットワークを構築中。開始する際には連携していただければ。緩和・IVH・高カリー

輸液・無菌製剤の調整など、在宅で対応出来つつある。

松永先生 薬剤師が訪問していただけると助かる。薬がたまっている場合がある。

山本先生 カンターを作り、服薬管理している。退院時に調整できれば準備できる。

松永先生 歯科はどうですか。

木下先生 やっているが、小さい。

山本先生 ふじにのくにねっと病薬連携を県総と 70 件ほど実施。

中村室長 当院も病薬連携の説明会を 2 月頃実施予定。3 月頃から始められれば。

石塚院長 逆紹介率が伸び悩み。なんとかしたい。

柴山先生 紹介率の中には後付のものも含まれていますか。

中村室長 含まれています。

終了 20:55

## 病診連携システム運営協議会次第

日時：平成24年10月4日（木） 午後7時30分

会場：静岡済生会総合病院 講堂

1. 開会の挨拶 静岡済生会総合病院長 石塚 隆夫
2. 挨拶 静岡市静岡医師会会長 青山 茂夫 先生
3. 内容 ①現況報告・病診連携の取り組み報告  
②その他
4. 出席者（敬称略）

静岡市静岡医師会		静岡済生会総合病院	
会長	青山 茂夫	病院長 (産婦人科)	石塚 隆夫
副会長	柴山 修介	副院長 (神経内科 地域医療委員長)	吉井 仁
副会長	袴田 光治	副院長 (脳神経外科)	石山 純三
理事	飯室 優	外科部長	岡本 好史
理事	岡本 恭和	緩和医療科部長	須賀 昭彦
理事	佐藤 栄作	看護部長	佐野 ちづる
理事	遠山 和成	事務部長	杉原 孝幸
理事	福地 康紀	地域連携室室長	中村 敬
地域医療委員会委員	杉山 圭一	地域医療センター (看護師長)	吉田 聖乃
事務局長	長田 光男	看護師長 (外来担当 地域医療委員)	小林 美枝
		看護師長 (南9階 地域医療委員)	大上 規美子
		看護師長 (南6階 地域医療委員)	上田 理恵子
		放射線技術科主幹 (診療放射線技師 地域医療委員)	奥川 令
		医療相談室主任	岩崎 圭介
		総務財務課 (地域医療委員)	谷藤 みつ子
		地域連携室主査	村松 隆代
		地域連携室	前川 あゆ美



平成24年度 病診連携システム運営協議会

(第20回)

日時：平成24年10月 4日（木）19:30～21:00

場所：当院 講堂

出席者：静岡市静岡医師会 会長 青山 茂夫  
副会長 柴山 修介  
理事 飯室 優  
理事 岡本 恭和  
理事 佐藤 栄作  
理事 遠山 和成  
理事 福地 康紀  
地域医療委員会委員 杉山 圭一  
事務局長 長田 光男  
欠席 副会長 袴田 光治

当院

石塚 隆夫 病院長  
吉井 仁 副院長、地域医療委員長  
石山 純三 副院長  
岡本 好史 外科部長  
須賀 昭彦 緩和医療科部長  
佐野 ちづる 看護部長  
杉原 孝幸 事務部長  
中村 敬 医療連携室室長  
吉田 聖乃 地域医療センター（看護師）  
小林 美枝 看護師長（外来担当 地域医療委員）  
大上 規美子 看護師長（南9階 地域医療委員）  
上田 理恵子 看護師長（南6階 地域医療委員）  
奥川 令 放射線技術科主幹（診療放射線技師 地域医療委員）  
岩崎 圭介 医療相談室主任  
谷藤 みつ子 総務財務課（地域医療委員）  
前川 あゆ美 地域連携室  
村松 隆代 地域連携室

内 容 :

石塚院長挨拶

紹介率伸び悩んでいる。逆紹介率も減少しており危機感をいただいている。様々なご意見をいただき協力して行っていきたい。

青山会長挨拶

病診連携に関して良い関係ができています。風通しが良くなってきている。今後も良い連携ができればと思っている。

<自己紹介>

吉井先生

いつも連携に関してお世話になっている。今後ともよろしくお願ひします。

石山先生

救命センター長を兼任している。ご迷惑をおかけしているかもしれませんがよろしくお願ひします。

岡本先生

外科の他にTQMセンターという、医療安全・感染対策のセンター長を兼任してゐる。医師会の先生方とは、懇親会などで顔を合わせている。今後も顔の見える形で連携を深めて行きたい。

須賀先生

S-NETの関係で病棟の患者さんを診させていただいている。今後ともよろしくお願ひします。

佐野看護長

よろしくお願ひします。

事務部長

いつもお世話になっております。さらに良い関係になるよう努めていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

奥川さん

よろしくお願ひします。



岩崎さん

よろしくお願ひします。

大上師長

よろしくお願ひします。

上田師長

よろしくお願ひします。

吉田師長

よろしくお願ひします。

谷藤さん

よろしくお願ひします。

村松

よろしくお願ひします。

前川さん

よろしくお願ひします。

柴山先生

登呂遺跡の近くで内科・循環器科を開業している。4月から副会長をしている。よろしくお願ひします。駅南のドクターは頼りにしている。循環器だけでなく、神経内科・内分泌科など幅広く連携をさせてもらっている。循環器科に関しては、他の病院も揃って、同じ様なフォーマットでの連携を始めていきたい。

福地先生

東新田で外科を開業している。医師会では地域連携の理事を担当している。脳卒中の担当ということで先生方にはお世話になっている。今後ともよろしくお願ひします。

遠山先生

SBS 静岡健康増進センターでドックを行っている。みなさんには今までどおりお願ひすることが多々あるかもしれませんが、よろしくお願ひします。

杉山先生

S-NET・糖尿病・脳卒中などでお世話になっている。よろしくお願ひします。

#### 飯室先生

駅南の馬淵で開業している。済生会の方にはいつもお世話になっている。困った時には済生会と、ご迷惑をかけておりますが今後ともよろしく願います。

#### 岡本先生

曲金で外科を開業している。4月から医師会の理事・地域医療委員会・危機管理委員会などを担当してる。危機管理委員会では、災害時にアマチュア無線を介したネットワークができていますので、そこに病院の先生方も加わっていただきたく動いている。ご協力をお願いします。

#### 佐藤先生

1月にやっと大腿骨地域連携パスに診療所も参加。数例、回復期病院からまわって来られていますが、まだまだ数が少ないようですのでシステムにのるよう協力をお願いします。

#### 長田事務局長

よろしく願います。

#### 中村室長

広報誌をリニューアルし、隔月で患者さん、地域の方々にお配りしている。資料の中に公開講座などのちらしを同封させていただきましたのでご利用を。

ここ数年、実患者数という形でご報告。昨年度の数字。駿河区 79,000 人、葵区 25,000 人、清水区 20,000 人の方が当院を利用されている。入院、外来を含めた数字。一昨年と比べて割合はあまり変わっていない。

少し変わってきているのが入院。駿河区 7,900 人、葵区 3,200 人、清水区 2,700 人。清水区はここ 10 年位、割合として 10%位増えている。

救急搬送は、清水区の割合が増えてくる。駿河区 2,025 人、葵区 1,330 人、清水区 747 人、焼津・藤枝・県外などその他 289 人が搬送された。入院に至った患者さんが、駿河区 908 人、葵区 576 人、清水区 374 人。入院した方の割合としては、市外・県外が少なくなっている状況。清水区は入院の方が少し多いという割合。市外ではこの次に多いのが、焼津市・藤枝市・富士市という順。市立静岡や日赤などに比べて当院は市内の方が多い傾向にある。

ここ数年、福祉施設からの入院で救命センターからの割合が増えている。救急搬送された患者さんが 4 月～8 月までで 1759 人。入院に至った患者さんが 767 人。そのうち、老健・特養・グループホーム・有料老人ホームからが 137 人、18%を占めている。その半分が特養からの入院。特養の職員が患者さんを連れてきた後、施設に戻ってしまい患者さんだけが残されるというトラブルが度々ある。来院された理由を聞くと、夜間帯で看護師がおらず、施設で看れないから救急車で連れてきたという返答。連れて来て、今後は施設で

看れないので済生会で探してということも。現場で困っている。

10/1 現在の医師数、常勤医 80 人、研修医 17 人、非常勤 34 人。医師の増減、昨年 4 月から今年 10 月にかけて。胸部・心臓血管外科、整形外科、病理診断科が増えている。減ったのが、形成外科、内分泌代謝科、循環器不整脈科、産婦人科、皮膚科、救命救急科、歯科・歯科口腔外科。他の職員は、看護師（常勤）461 人、薬剤師・診療放射線技師・臨床検査技師科など。当院は他と比べてリハビリテーションのスタッフが多い。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が 29 人。入院して早期にリハビリが介入して退院調整。脳卒中などは早期リハビリを行っている。あと臨床工学技士・栄養士などの専門職がいる。

救命救急科の医師が退職した後、診療所や他の医療機関からの要請を時間内は地域連携室で連絡を受けていたが、「救命センターに受診させるのに、連携室を通さなければいけないのか」との声もあり、7 月からは救命救急センター受付で要請の連絡はで受けている。

紹介数・逆紹介数のカウントの仕方がまちまちであり、そのあたりも含めて説明を。診療報酬上で紹介患者数、こちらから情報提供した患者数、地域医療支援病院での紹介率の数え方、実際先生方から何枚もらって何枚返したかなど、なかなか見えてこない。医師会に報告している数と実際の数とは異なっているので説明を。

診療報酬を基礎にした紹介・逆紹介数は 2003 年から統計をとっている。2007 年・2008 年なかなか取り組めなかった時期があった（連携）。紹介されても逆紹介できなかったということが数字にも表れている。ここ近年、紹介・逆紹介の数が逆転したり少ない時もあった。

地域医療支援病院としては紹介率 40%・逆紹介率 60%を目標にして統計をとっている。紹介率は 40%以上で推移しているが、逆紹介率は下がってきている。初診患者のうち、紹介状を持たない患者さんが増えているため。お返事は多く作っている。

インターネットについて。S-NET は H19 年から開始して 5 年経過。当初は数名だったが現在は 211 人。脳卒中 1324 人。糖尿病 278 人。CKD62 名。肝炎・PAD も始めている。URO ネット 215 人。ICT を活用した地域患者情報共有システムの導入。イージーインターネット・ふじのくにねっと（29 人開示）・静岡県版在宅医療連携ネットワークなど。静岡県版在宅ネットワークは救命で活用したい。院内の電子カルテを入れ替えした。想定以上に手間がかかっている。

7 月より紹介予約枠を設定した。以前よりは、返答に時間がかからなくなった。連携室の業務を 19 までに延長。FAX は 24 時間受け付けている。

今後の課題として、紹介の仕組みをわかりやすくする。玄関フロアに、市内の地図の様なもの、診療科のカードの様なものを設置予定。診療所向けの広報誌を発行予定（医師の異動、診療の目玉など）。11 時までの診療受付時間の延長、連携室予約枠の増加、土曜日の連携業務実施、完全紹介制の導入などを検討している。

福地先生

清水区からの患者さんが10%増えたというのは、10%増か、例えば6%が16%になったという事か、どちらか。

中村室長

後者。

福地先生

逆紹介の種類 ・診療所から紹介→病院に通院→その後逆紹介→戻し紹介  
・ずっと病院に通院→その後逆紹介→純粹逆紹介  
割合はどのくらいか。

中村室長

半々くらい。昨年のデータで、頂いた紹介状が月に1,000件前後。そのうち戻し紹介が500件、純粹逆紹介が500件くらい。

福地先生

退院後の報告が来ていない。手術をして退院などの外科系の患者さんの報告をお願いしたい。県版在宅ネットは、在宅安心ネットに登録している診療所の半分くらいが参加予定。救命センターで利用を。イエローカードの患者さんのデータが入っているので利用を。土曜日にネットの方の予約が取れると良い。ふじのくにねっとの開示がまだ29人ということですが、患者さんの画像などを開示していただけるとありがたい。見ることができればレントゲンを撮らないですむ。診療所も参加しているところが少ないのですが。

岡本先生

ふじのくにねっと。済生会・県総との連携が多い。まだ登録していないが、利用方法を病院の詳しい人から教えてもらうことができればうれしい。

中村室長

ふじのくにねっとが進んでいない理由の1つとして、地域IDの名寄せのシステムでトラブルがあった。また、当院で管理している宛先医療機関マスタが、ふじのくにねっとのマスタになっている医療機関がある。

福地先生

玄関フロアにカードを置くというのは、具体的にどういった診療所か。

中村室長

登録の先生だけでなく、市内の先生方まで広げようか検討中。

福地先生

インターネットの登録医・済生会病診連携登録医だけでなく、すべての診療所か。

中村室長

そう考えている。

福地先生

そうしていただければありがたい。

中村室長

配布した広報誌の診療所紹介のようなイメージ。

福地先生

写真も入るのですか。

中村室長

はい。

福地先生

今度、医師会で連携の情報が載った名簿を作成するので、それを利用していただければ。

事務部長より新館建設計画の説明

→7年計画。27年度末に新館をオープンしたい。解体・西館の耐震補強・外構工事など29年度に事業完了予定。

青山先生

済生会遠いので患者さんのお付き合い少ない。連携をドロップアウトしてしまった人がいるが、また連携を。

柴山先生

予約の返事、早くなった。

遠山先生

ドックを行っている。紹介状を渡しても行かない人がいる。電話を直接医師にするので対応してほしい。そこで電話に出てもらえないと終わり、紹介しない。電話をしておく  
と受診率は100%に近い、しないと受診率は40%くらい。

杉山先生

連携順調。長続きさせてほしい。土曜日対応などは無理をせずに。

飯山先生

脳卒中、糖尿病や、専門の循環器科を紹介することが多い。CKDで腎内のドクター心強い。高齢化社会になり、腎機能が悪くなる患者さん多い。済生会からの紹介患者さんの腎臓が悪い方多い。CKDに力を入れていただいているのはありがたい。土曜日の事は助かるが、無理をせずに。

岡本先生

土曜日はありがたいが無理をなさらないように。患者さんの目の前で直接医師に電話をすることが非常に多い。ご理解を。患者さんが良くなるためという同じ目的を共有している病院と一緒に診ていけば、患者さんも両方に好感をもって付き合ってくれる。患者さんのためにみなさんと一緒にやっていければ。

佐藤先生

整形外科。紹介状にはXPを添付してほしい。状況がわからないので。

石塚院長

報告書を忘れたものがあるかも。連携室にもチェックしてもらおう。医局会でも話をする。医師への電話は受けますのでご連絡を。

吉井先生

ネット順調。今後は、終末期・認知症・ねたきりの患者さんなど、大変な問題になるのでは。医師会の先生方と一緒に考えて行きたい。

石山先生

ネットこれからも進めていきたい。救命救急センターに対するご不満があると聞いている。できれば具体的な内容を直接知りたいと思っている。お気づきの点がありましたら直接教えていただければ改善を図れるものもあるのでは。

岡本先生

返事が遅れてしまうことがある。コミュニケーションを良くし、医師同士が連絡を取り合うことが患者さんのためになる。ふじのくにねっとは10年、20年先には、地域共通の電子カルテのようなものになっていくのでは。お互いの顔が見え、声も聞こえ、そして情報も共有できるというようになっていくのかなど。

須賀先生

返事のタイミングは。当院のシステムでは、1回目が済んでしまうと、チェックがはいらない。どのタイミングの返事がよいか。

福地先生

大学の時は、受診・入院・手術・・・など若い先生の仕事だった。それは無理だと思うので退院の時が大事では。

柴山先生

来院したとのお返事。まず、受診したことがわかるとよい。あとは最終。

遠山先生

入院日がわかるとよい。入院している病院に1度はお見舞いに行く。

須賀先生

シビアな話の時は、電話にでるのが難しいかも。

看護部長

病院・看護に対するご意見があれば教えていただければ。看護師と事務で訪問する計画があるかがいかがでしょうか。退院サマリーが必要な場合は送ることができる場合も。看護の視点でお伝えすることができればと思っている。

吉井先生

救命救急科の医師が退職。少子高齢化社会に伴い、内科系の疾患が増えている。内科系の医師が充足しておらずご迷惑をかけている。金も人も無いが何とか知恵を出して、地域みなさんに信頼され、貢献できる病院を目指していきたい。

終了





## 病診連携システム運営協議会次第

日時： 平成24年11月27日(火) 午後7時

会場： 静岡市清水医師会 3階視聴覚室

1. 開会の挨拶 静岡済生会総合病院長 石塚 隆夫
2. 挨拶 静岡市清水医師会会長 松永 元良 先生
3. 内容

### (1) 現況報告、病診連携の取り組み報告

#### 4. 出席者 (敬称略)

##### 静岡市清水医師会

会長 松永 元良  
副会長 村上 仁  
副会長 望月 篤  
理事 向井 英之  
理事 川口 茂  
理事 福地 照元  
理事 磯垣 誠  
理事 吉永 治彦  
浅野 健  
乾 哲也  
浦島 哲郎  
馬越 智浩  
松浦 知史  
三上 直  
宮地 武彦  
森 泰男  
事務局長 望月 秀樹  
事務員 井田 秀一

##### 静岡済生会総合病院

病院長 石塚 隆夫  
(産婦人科)  
副院長 吉井 仁  
(神経内科・地域医療委員長)  
副院長 石山 純三  
(脳神経外科)  
看護部長 佐野 ちづる  
事務部長 杉原 孝幸  
地域連携室室長 中村 敬  
地域医療センター 吉田 聖乃  
(看護師長)  
地域連携室主査 村松 隆代  
地域連携室 前川 あゆ美  
地域連携室 井藤 三友紀



平成24年度病診連携システム運営協議会（清水）

（第12回）

日時：平成24年11月27日（火） 19:00～20:30  
場所：静岡市清水医師会 視聴覚室

出席者： 静岡市清水医師会 会長 松永 元良  
副会長 村上 仁  
副会長 望月 篤  
理事 向井 英之  
理事 川口 茂  
理事 福地 照元  
理事 吉永 治彦  
理事 浦島 哲郎  
理事 馬越 智浩  
理事 松浦 知史  
理事 三上 直  
理事 宮地 武彦  
理事 森 靖男  
事務局長 望月 秀樹  
事務員 井田 秀一

当院 石塚 隆夫 病院長  
吉井 仁 副院長、地域医療委員長  
石山 純三 副院長  
佐野 ちづる 看護部長  
杉原 孝幸 事務部長  
中村 敬 医療相談室室長  
吉田 聖乃 地域医療センター看護師長  
村松 隆代 病診連携担当  
前川 あゆ美 病診連携担当  
井藤 三友紀 病診連携担当

内 容 :

#### 院長挨拶

お集まりいただきありがとうございます、済生会病院の診療にご協力をいただきありがとうございます。連携に関して、医師不足などいろいろご迷惑をおかけしていますがこの協議会で様々なご意見をいただき、さらに良い連携ができるようにと思っています。

#### 松永会長挨拶

遠いところからお越しいただきありがとうございます。本日は、内科医が多く集まっています。他には、外科・小児科・整形外科の医師。病診連携でいろいろな話ができると思いますがよろしくをお願いします。

#### 向井先生（司会）

取り組みについての報告をお願いします。

#### 中村室長

受診実患者数（昨年データ） 清水区は 20,153 人で全体の 14.9%の方来院。市外・県外は 7.2%。ここ 5 年位のデータで約 3%増えている。入院は、清水区から 2,737 人の方が入院。全体の 18.1%（外来より高値、内容の濃い患者さんが来ている）。市外・県外は 7.1%だが、2 年前は 2%だったので、おそらくドクターヘリなど広域で搬送される方が増えてきているのでは。救急搬送は 17%の患者さんが清水から来院。2 年前と比べて 1.5%、100 人位増。入院は 374 人で、救急搬送された患者さん約 700 人の半数が入院された。旧静岡市の患者さんが多かったが、清水区、焼津市、富士市の患者さんが増加。

最近、救命センターに関してのトラブルが多い。福祉施設からの患者さんが増えてきている。救急車で搬送患者数 1,759 人、入院に至った患者数 767 人、そのうち介護・福祉施設、療養型病院などから 137 人（特養から 60 人）。福祉施設に関する事で、「土日で看護師がいない」「嘱託医師と連絡がとれないので、夜間はこのままでは不安」などの理由で、救命センターに施設の方が連れてこられ、預かれないので入院をさせてほしいというケースや、大変な患者さんで、施設では看れないので入院後、行き先を探してほしいという施設の方は帰られてしまうケースがありトラブルになっている。月に 1.2 件はある。他院も同様。

医師の推移 常勤医 80 名、研修医 17 名、非常勤 34 名。昨年 4 月～今年 10 月で、胸部・心臓血管外科、整形外科（リハ）、病理診断科が増員。形成外科、内分泌代謝科、循環器不整脈科、産婦人科、皮膚科、救命救急科、歯科が減員。看護師 461 人、薬剤師

他コメディカルは別紙のとおり。リハビリの職員は総合病院のなかで一番多い。

救命救急科の医師の退職に伴い、救命センター受診要請の電話を連携室で受けていた。救命受診の要請に連携室を通すのは手間との声があり、救命センターで受けるように変更。連携室直通電話に連絡があった場合は連携室で対応。

紹介・逆紹介数の年度推移 約 12,000 件 (H23 年度)、月に約 1,000 人の患者さんをご紹介いただき、同じ位の数の患者さんを地域の先生方にお返ししている。

紹介率・逆紹介率の推移 逆紹介率は 70%位で推移している。今年度、逆紹介率が下がっているのは、医師が退職すると逆紹介するケースが増えるが、退職医師がいないからでは。夏場は初診の患者さん（紹介状持参なし）が多かったため、逆紹介率が下がった。

初診患者・紹介・逆紹介数 7・8 月は初診の患者さんが多かった。紹介状をいただいている患者さんの数はあまり変わっていない。

紹介・逆紹介数（+報告書）の月別推移・・・診療報酬上、点数を算定した逆紹介数紹介状 1 枚につき、2 枚位の報告書を記載している。

イーツートネット S-NET は 219 名登録（胃がん 42・大腸がん 93・乳がん 84）、脳卒中 1354 名（リスク 273・発症 1081）、糖尿病 281 名、肝炎・PAD・も参加。パス管理、患者さんの状況確認などが課題となっている。

昨年度からの課題として、ICT を活用した地域患者情報共有システムを導入した（イーツートネット・ふじのくにねっと・静岡県版在宅医療連携ネットワーク）。ふじのくにねっとは 3 月より試験運用開始し、35 例開示している。今後、開示施設の範囲を拡大予定（診療所・病院・薬局・訪問看護ステーション）。電子カルテシステムとの間で不具合（地域 ID との紐付けに関して）があったが、運用面で対処することとなった。12 月より対象範囲を拡大して運用を始める予定だが、周知方法や受付（来院）時の確認方法（スタンプ印配布？）などの検討が必要。また、患者さんの ID 管理・患者の確認方法も課題となってくる。

今年度の計画として、診療所向けのサービスを検討し、紹介予約枠の設定・連携室の業務時間延長（19 時まで対応可能）などを実施した。従来より、19 時以降は救命センターで FAX を受信している。

今後は、患者満足度の向上（紹介の仕組みをわかりやすく・玄関フローに案内図と各診療所カードを設置）、医療機関向けの広報誌の発行（連携室関連・医師の異動など 3 ヶ月に 1 回）、診療受付時間や紹介枠の拡大、土曜日対応の検討、完全紹介制の検討、ふじのくにねっとの活用（包括同意の採用・患者の同意の元、原則開示）などが課題。

向井先生

少しずつ清水から紹介の患者さんも増えている。連携の取りやすい病院。病診連携を進めていく努力している様子がわかり、心強い。従来、理事の先生のみ出席だったが、病診連携担当の先生も出席していただいた。いろいろな科の先生がいるので、様々な意見が聞かれるのでは。

#### 松永会長

紹介する患者さんは少ないが、継続して受診している。施設にはこちらも困っている（病院にかかりたいので紹介状がほしいと頼んでくることも）。老健施設に関しても困るケースがある（お願いするときにはお願いするけども、医療費がいろいろかかるようになると、お願いしたのに逆に受け入れを断る）。

#### 望月先生

泌尿器外来は評判よい。URO ネットで返事もすぐ来る。紹介しなくてもバルーン交換の患者さんを逆紹介してくれる。在宅の泌尿器科も行っている。地域医療の関係から在宅患者さんのバルーン交換の依頼があれば行っている。

#### 村上先生

草薙で開業しているため、小児科との連携は活発。以前は、救命センターに受診した患者さんの受診報告のFAXがあったが、今は行っていますか？来院されたという受診報告というよりも、具体的な内容の連絡をいただくと、逆紹介という形でお返事ができるのでもらえると良い。小児科は急性期の患者さんが多いので、ネットという形はむしろかしい。FAXという形で連絡システムを構築できれば。

#### 浦島先生

清水のはずれで開業、ネットで連携している。胃がん・大腸がんの患者さんを見つけることが多く、県総に紹介するとほとんどS-NETに登録される。以前、紹介した患者さんがネット登録されなかったので、今後は、S-NETという有用なツールで連携をしていきたい。

#### 吉永先生

駅前が開業、内科です。場所柄、それほど連携しているわけではないが、吉井先生をはじめ、神経内科・脳卒中ネットで連携している。トラブルなく、非常に良く連携している。医師会事務局との情報のすりあわせはどうなっているのか。自分は在宅に力を入れているが、おそらく病院の先生方は、清水医師会の誰が在宅を行っていて、どの範囲まで行っているかなどの情報を知らないのでは。自分のところには、どの病院も、訪問看護師さんやケアマネさんを通じて来る。医師会事務局を通して行っていく筋道をつけていけたら良い。父が引退して5・6年位になるが、診療情報提供書の宛名がすべて父の名で来るので登録の確認を医師会と定期的な確認などをしたらよいのでは。例年、懇親会の日程と重なるので、医師会の予定や学術講演会の日程の確認を。

### 福地先生

七ツ新屋で内科・循環器科を開業。脳卒中ネットで吉井先生と連携。他には、循環器内科・山田先生、腎臓内科・戸川先生と連携している。患者さんから済生会に対してクレームは無い。清水医師会側の医師名簿の更新が済生会側に伝わっていないのでは。

### 三上先生

庵原で開業。済生会には遠く、特定の方は連携している。科別の紹介方法をわかりやすくしてほしい。救命センターで幅広く受け入れてもらっている。科の特徴や状況がわかると良い。

### 川口先生

八千代町で小児科を、妻が皮膚科を開業。済生会は遠く、ほとんど紹介することは無い。救命センターに時々受診。救命センターに受診した際の患者さんの受診態度や病状に関して感じられたことがあれば、逆紹介という形で連絡をいただければ。小児科は救命センターに受診することが多いので、それによって夜間の救命医療が円滑に運べば良い。済生会に受診して不愉快な思いをしたとか、困ったという話は患者さんからは無い。

### 松浦先生

平川地で開業。森山先生・浦崎先生に脊椎の処置をお願いした。若い先生からは外傷患者さんの逆紹介がある。骨粗しょう症の患者さんの逆紹介もある。森山先生への紹介方法や、伊藤先生の初診枠（紹介方法）がわかりにくい。脊椎の患者さんを紹介しづらい。

### 宮地先生

地理的にあまり紹介することが無い。済生会で透析を導入された患者さんが多いので、戸川先生をはじめ、循環器科・神経内科の先生と連携している。

### 森先生

保健センター横で開業。ふじのくにねっとを担当しているが、広がらないということと、システム自体が使いづらいということが困っている。

馬越先生

清水には耳鼻科の常勤医師がいる病院がないため、済生会で受けてもらっている。時間外でも断られたことは無い。

向井先生

情報のやりとりが円滑にっていないような気がする。診療所側の情報が取りにくいのでは。医師会の登録診療所マップを利用しては。清水医師会の情報を発信するシステムが出来つつある。紹介のシステムなどが変更したことで知らないことがあるので、一覧にまとめてもらえれば（連携システムの方法・用紙・時間・時間外対応・ふじのくにねっとなど）。各病院の連携システムの情報を一覧にしてファイリングしたい。

ふじのくにねっとは、まずは参加してみる。ふじのくにねっとを使わなくても診療できるため、参加する先生が増えない。ハード面にも課題がある（院内LANとふじのくにねっとと同時に使用できない）。

森先生

添付資料が多数の厚い返書をもらうが、要点のみいただければ。

向井先生

申込書のみの予約方法の周知を。

吉井先生

内科医師が不足しており、ご迷惑をかけている。

石山先生

イーソーネットで連携している。救命センターも担当している。救命救急科医師が退職したが、レベルを落とさずがんばっているのでよろしくお願いします。

中村室長

本院の受診報告を行っておらず、それよりも返書を書くようにしているが、今後受診報告ができるようにします。



村上先生

日赤は、返信用用紙がついてくる。双方のつながりができるような印象。受診申込用紙は、各病院共通のものがあるとよい。

中村室長

各病院と相談します。

松永先生

清水区の診療所の先生の情報を出しては。それを病院の先生に知ってもらえば。医師会の4階スペースが空いているのでよければ利用を。

向井先生

以前は静岡医師会のような診療所情報のCDを作成しようと思ったら、反対があり出来なかった。今はだんだん変わってきている。

吉永先生

情報を集めようと思っても、インターネットそのものを使用しない診療所がある。在宅受け入れの状況などが、リアルタイムのネットでわかると良い。

向井先生

出来ることと出来ないことをはっきりさせてしまうと、逆紹介の時に特徴のある診療所へ行ってしまう。ホームページで紹介するのはいいが、医師会で行うのはどうか。

松永会長

原則としてまず、紹介元の先生を選択する、次に近いところとかいう順番はあると思うが、迷った時に役立つものがあったらいいのでは。会員の意見も聞きながら進めて行きたい。

望月事務局長

事務局の体制を整えば、連携室とやりとりができるようになると思う。

杉原事務部長  
新南館建設説明

村上先生

防災面で、国吉田からの地域は静岡でも清水でもなく曖昧。市の防災と話しをしている。今後、草薙地区も含めて相談させていただきたい。

向井先生

貴重なご意見ありがとうございました。大事な連携病院。今後も連携して行きたい。清水医師会のスケジュールがわかるシステムがあるので利用を。今後ともよろしく願いします。

終了 20 : 30